

議会開会中

第1回定例会

主な議案のあらまし

平成30年第1回定例会は、3月5日から23日までの19日間の日程で開催しました。

本定例会では、市長から平成30

年度の「市政執行方針及び予算大綱」が説明されたほか、市政について5人の議員が代表質問を行いました。また、平成30年度予算については、第1、第2予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

議決した主な内容についてお知らせします。



▲市政執行方針を表明する前田市長

◎平成30年度各会計予算

各会計の予算審査は、予算審査特別委員会において関連議案も含

めて慎重な審査が行われました。

各会計の予算額は、一般会計198億4,000万円(前年度比0.2%減)、国民健康保険特別会計50億1,957万円(前年度比9.0%減)、公営住宅事業特別会計8億6,924万円(前年度比14.5%増)、介護保険特別会計41億6,767万円(前年度比3.2%増)、後期高齢者医療特別会計6億1,380万円(前年度比4.9%増)、土地区画整理事業特別会計3,618万円(前年度比20.2%減)、下水道事業会計29億476万円(前年度比3.7%増)、病院事業会計77億767万円(前年度比1.0%増)で、総額411億5,890万円(前年度比0.3%減)となりました。

◎平成29年度補正予算

一般会計で1億4,533万3

千円を増額補正し、202億9,673万1千円となりました。

主な内容は、実績見込みに伴う重度心身障害者医療扶助費および私立幼稚園就園奨励費補助金などを減額補正したほか、増額補正として計上された主な事業費は、降雪量の増加に伴う除雪等委託料1億193万4千円、燃料単価の値上がりなどによる市庁舎、児童館ならびに小・中学校および西高等学校の燃料費2,201万円などです。

このほか、国民健康保険特別会計で3,596万円を増額補正し、56億6,909万8千円、公営住宅事業特別会計では、平成30年度に繰り越して使用するため3,900万円を増額補正し、8億1,019万2千円に、後期高齢者医療特別会計では、広域連合事務費負担金等の確定により150万1千円を減額補正し、5億8,347万7千円となりました。

◎条例の制定・改正・廃止

次の条例の制定、改正、廃止について、原案のとおり可決しました。

○滝川市指定居宅介護支援等の事

業の人員及び運営に関する条例、滝川市保健福祉部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例など5件の条例を制定しました。

○滝川市税条例の一部を改正する条例、滝川市文化センター条例の一部を改正する条例など12件の条例の一部を改正しました。

○滝川市コミュニティ防災センター条例を廃止しました。

◎教育委員会委員の任命

任期満了に伴うもので、芳村敦子さんの任命に同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴うもので、吉井裕視さんの選任に同意しました。

◎意見書の送付

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する要望意見書ほか3件の要望意見書を可決し、関係機関に送付しました。

◎その他の議案等

そのほか、市議会会議規則の一部を改正する規則など9件の議案等を可決、報告済としました。